

2020 年 9 月 4 日

各 位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

住友三井オートサービス株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、住友三井オートサービス株式会社（以下、住友三井オートサービス）が発行するグリーンボンド⁽¹⁾（5 年債 100 億円）の引受けにおいて共同主幹事を務め、本日、同グリーンボンドの条件が決定されましたことをお知らせします。

住友三井オートサービスは、経営理念の Vision（目指すべき企業像）に「クルマ社会の発展と地球環境の向上に貢献」することを掲げており、電動車の普及促進や導入サポート、エコドライブの推進など環境に配慮した事業活動に取り組んでいます。2017 年 2 月に策定した中長期環境目標の 1 つに、乗用車仕入台数に占める次世代自動車の割合を 2030 年度までに 50%とすることを掲げております。本グリーンボンドで調達された資金は、自動車リース事業における、英非営利団 Climate Bonds Initiative が定める CO₂ 排出量の基準値を満たすハイブリッド車、電気自動車、燃料電池自動車の新規購入資金に充当される予定です。

本グリーンボンドは、適格性と透明性の確保および投資家への訴求力向上のため、第三者評価として、株式会社格付投資情報センター（以下、R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）の「グリーンボンド原則 2018」および環境省策定の「グリーンボンドガイドライン 2017 年版」への適合を確認したセカンドオピニオンと併せて、「R&I グリーンボンドアセスメント」において最上位である「GA1」の評価を取得しております。また、環境省の 2019 年度グリーンボンド発行促進体制整備支援事業の補助金の交付対象となっております。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、環境分野においてもグリーンボンドの引受けをはじめ、社内の省エネ・省資源施策等を実施しています。

2006 年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本件グリーンボンドの概要)

銘 柄 : 住友三井オートサービス株式会社第6回無担保社債(社債間限定同順位
特約付)(グリーンボンド)

取得格付 : A (R&I)

年 限 : 5年(2025年9月11日償還)

発行額 : 100億円

利 率 : 0.230%/年

払込期日 : 2020年9月11日

主 幹 事 : SMBC日興証券株式会社、野村証券株式会社、大和証券株式会社、
みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本件グリーンボンドは、国際資本市場協会
(International Capital Market Association : ICMA) が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債
券である旨、第三者機関による評価を取得している(第三者評価機関 : R&I)

以上